2016-17 “INTERNATIONAL ROTARY　DISTRICT2770
IWATSUKI ROTARY CLUB

Weekly Report

クラブ・テーマ　「時流にあわせた変化と発展」

会　長 小田光司　　例会場 ： 割烹「ふな又」　例会日：木曜日　点鐘 12:30～13:30
幹　事 田中芳明　　事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203　℡048-758-0680　FAX048-758-0681
会長Ｅ 小林利郎　　htt://www.iwatsuki-rotaryclub.jp　E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度　第13回　通算2584例会　　平成28年10月13日

会長の時間　　第 54 代会長　小田光司

本日は地区国際奉仕部門委員長の小山様に卓話にいらしていただいております。お忙しいところ大変ありがとうございます。

やっと秋らしい気候になって参りました。朝夕の寒暖の差が激しくなって来ましたので、体調には十分気を付けていただきたいと思います。

近頃はネット上の文言で何かと問題が起こることが多いですね。著名人の書き込みにはマスコミがすぐに食いつき、派手に報道されます。少し前まではネット上で言いたい放題だったような気もいたしますが、自分の信じる考えを発信するときにも言葉を選ばなければならない時代になっております。同じ言葉を載せても、人によって受け取り方が様々であるため誤解を生むこともありますので、細心の注意を払わなければなりません。

ネットの環境は最早我々の生活から切り離せないものとなっていて、上手に付き合って行かなければなりません。やはりコミュニケーション能力を高めることがとても重要なのではないかとつくづく思います。人の顔を見て言葉を発し、相手の言葉や表情や感情を察する訓練が現状の社会では少なくなってきているのかも知れません。我々ロータリアンは会社の代表者がほとんどで、会社での発言は絶対であることも少なくないと思いますが、そんな我々だからこそ気をつけ、自己啓発に努めて行かなければならないと思います。

また、例会に出てきて色々な人と話し、コミュニケーション能力向上の一助にしていただけたらと思います。

それでは本日も勉強させていただきましょう。よろしくお願いいたします。

幹事報告　　幹事　田中芳明

1、　大宮北東ＲＣ様より例会 1126～1129 回の週報が届いています。

2、　地区大会が 11 月 12 日、13 日で行われます。皆様にメール・ＦＡＸにてご案内差し上げています。
例会扱いとなっています。ご出席よろしくお願いいたします。

卓話

第 2770 地区国際奉仕部門 委員長　小山寿行　様（幸手）

岩槻ロータリークラブの皆さま、本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。

さて、私のロータリー歴ですが、幸手ロータリークラブ所属で入会１４年、クラブ会長は６年前に勤めました。なお、地区出向は世界社会奉仕（ＷＣＳ）委員会に３年、国際交流委員会に３年、国際奉仕委員会に２年、今年度は国際奉仕部門委員長となっております。貴クラブの鈴木隆さんに国際交流委員会にお誘いいただき、以来、田口さん、原田さん、鈴木真樹さんとは国際奉仕部門の一員として供に活動する中で大変お世話になりました。

では、国際奉仕活動に関する卓話に入らせていただきます。今年度もフィリピン３８００地区との共同支援事業を国際奉仕委員会ではお勧めし、9 月に視察（既に終了）、2 月に検証に行く予定となっております。タイでも、ネパールでも、いずれの国での支援事業でも良いのですが、国際奉仕委員会ではフィリピン、特に 3800 地区をお勧めするには訳があります。皆様ならその理由がわかりそうですがいかがでしょうか。主に４つの理由から３８００地区と共同での支援事業をお勧めしております。

理由１・相手国の受け入れ先クラブが信用できること。

せっかくの支援金がきちんと使用されなければ意味がありません。しかし、国や相手によってはロータリアンに渡した支援金でさえきちんと使用されるとは限らない現実があります。３８００地区のクラブであれば不正はないであろうという安心感あります。

理由２・視察・検証が比較的容易

どのような支援事業に参加するのか視察をし、実際に予定通りの支援が実施されたかどうか検証する。可能であれば２回は現地に足を運ぶことになります。地理的に近い場所、できれば時差のないところの方が現地に行きやすいという事情があります。フィリピンは飛行時間約４時間、時差１時間で日本からは行きやすい立地にあります。

◆ 次回の例会 ◆　平成28年10月20日(木)　　会員増強卓話　　点鐘 12:30　会場　ふな又

理由３・英語が通じる
やはり一番なじみのある外国語である英語が通じる事でコミュニケーションが取りやすくなります。

理由４・支援を必要としている人の多さ
現地に行ってみてください。支援を必要としている人の多さに驚くはずです。

このような理由から比較的取り掛かりやすい「国際奉仕事業の入門編」として各クラブに３８００地区との事業をお勧めしております。

さて、3800 地区との事業例ですが、クラブ単独支援、グループの数クラブで共同支援、地区補助金を使用しての支援、地区補助金を使用しないでの支援、様々な参加形態があります。支援事業によって差はありますが日本円で 15 万円前後から 30 万円前後までの事業が多いので、補助金を使用しない、単独支援実施であっても実施は難しくないものと思います。

なお、国際奉仕委員会では「国際奉仕の入門編」から離れてクラブ独自の国際奉仕に取り組んでいただけるようお願いしております。例えばここで知り合った３８００地区のクラブと直接連絡を取り合い、合同支援をしても良いと思います。

また、米山奨学生や地元の国際交流協会等をとおして国際奉仕の種を探してみても良いと思います。

各クラブがそれぞれ独自に国際奉仕事業に取り組める状態を国際奉仕委員会では目指しております。

是非、貴クラブにも国際奉仕の種をお探しいただき、それを実践していただければと思います。その際、情報収集、疑問点などございましたら国際奉仕委員会にご相談下さい。できる限りのバックアップをさせていただきます。

本日は貴重なお時間いただきありがとうございました。

本年度の活動　・・・　実施予定事業は 10 事業

視察　（9 月 4 日～7 日）

3800 地区（フィリピン・マニラ）との共同支援事業視察の為、2770 地区から 50 名の参加者で視察及び支援金贈呈の目的で訪問。

視察の際には注意事項や特段の希望等を相手に伝えます。（最近は 2770 地区広報という意味合いと支援事業の 2 度取りを防止する観点から、形ある事業に関しては寄贈クラブのネームプレートを貼るよう希望をだしてもらっています。）

検証（2 月予定）

2 月に再度マニラを訪問して、視察した時に打ち合わせたとおりの支援が実施できているか検証してきます。

検証の結果思わしくない時にはクレームを入れて再度事業を調整してもらい、成果は報告書でもらいます。

奉仕部門委員長　原田晃博

（第 2770 地区国際交流委員会副委員長）

小山部門委員長、本日はお忙しい中、国際奉仕事業について大変分かりやすく卓話をして頂きましてありがとうございました。

スマイルＢＯＸより

ビジター

地区国際奉仕部門委員長　小山寿行 様（幸手 RC）
本日はお時間をいただき、ありがとうございます。

メンバー（50 音順）

小田光司	菊地　廣	鈴木　隆	鈴木真樹
関根信行	田口雅弘	田中芳明	田畑寛樹
津多一幸	出山知宏	中村　正	原田晃博
藤澤洋介	増岡昌行	三浦宣之	

✿　たくさんのご芳志ありがとうございました　✿

スマイル報告	
本日のスマイル合計	19,000 円
年間累計額	340,000 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	15	0	4	73.08%

発 行　支援･広報･学友委員会　委員長 鈴木 隆　副委員長 根岸節子　委員 志水一雄